

移動等円滑化評価会議 中部分科会(令和2年8月31日実施) 自治体、事業者の取組

| 自治体名 | 担当部署 | 資料名 | 資料番号 |
|------|-----------------|-----------------------------------|------|
| 愛知県 | 都市整備局交通対策課 | ホームドアの設置促進に向けた取組 | 9-① |
| 愛知県 | 福祉局福祉部障害福祉課 | 障害福祉に係る次期計画の策定 | 9-① |
| 静岡県 | 交通基盤部政策管理局建設政策課 | 静岡県におけるユニバーサルデザインの推進 | 9-② |
| 三重県 | 子ども・福祉部地域福祉課 | 県有施設のバリアフリー化調査 | 9-③ |
| 福井県 | 健康福祉部障がい福祉課 | カーポートパーキング整備事業 | 9-④ |
| 名古屋市 | 健康福祉局障害企画課 | 名古屋市の主な取り組み | 9-⑤ |
| 静岡市 | 都市局都市計画部交通政策課 | 静岡市における鉄道駅バリアフリー化事業の取組み | 9-⑥ |
| 浜松市 | 市民部UD・男女共同参画課 | ハート、ソフト、ハードの視点に視点によるユニバーサルデザインの推進 | 9-⑦ |

| 事業者名 | 担当部署 | 資料名 | 資料番号 |
|------------|-------------|---------------------------|------|
| 東海旅客鉄道株式会社 | 総合企画本部投資計画部 | バリアフリーに向けたハード・ソフトの取組みについて | 10-① |
| 中部国際空港株式会社 | 空港運用本部施設企画部 | 中部国際空港における取組 | 10-② |

ホームドアの設置促進に向けた取組

愛知県
都市整備局
交通対策課

ホームでの転落・接触事故を防止し、駅利用者の安全性向上を図るため、鉄道事業者が行うホームドアの設置に対して、国及び市町村とともに支援。

県内では、新幹線、地下鉄、新設路線を除く、既設鉄道駅へのホームドア整備は東海道本線金山駅が最初。

- 補助先：名古屋市
- 補助率：市町村補助額の1／3（ただし、ホームドア1列あたり3千万円を上限とする。）
（外に国1／3）

【 補助対象事業の概要 】

- 事業主体・整備駅：JR東海 東海道本線 金山駅
- 整備期間：2019年度～2021年度
- 事業費：約19.2億円



イメージ（JR金山駅での試作機）

【障害福祉に係る次期計画の策定】

資料9 - ①

愛知県では、障害者の自立及び社会参加の支援等の施策を総合的かつ計画的に推進するため、障害者基本法に基づく「障害者計画」を策定するとともに、障害福祉サービス等の提供体制を確保するため、障害者総合支援法（児童福祉法）に基づく「障害福祉計画（障害児福祉計画）」を策定しています。2020（令和2）年度、次期計画の策定期間が重なったことを契機に、本県の障害者施策の進むべき方向を示す羅針盤として、より実効性の高い総合的な計画とするため、両計画を一体的に策定します。

施策の方向性（案）抜粋

- ・ 障害者理解の促進
- ・ 虐待の予防・早期発見、虐待を受けた人の保護や相談支援
- ・ 障害を理由とする差別の理解の推進
- ・ 行政機関における合理的配慮の実施

他

取組（案）

- ・ 障害者理解促進、障害者差別解消のための普及啓発
- ・ 虐待防止、権利擁護、合理的配慮に係る各種研修の開催

他

静岡県におけるユニバーサルデザインの推進

1 要 旨

ユニバーサルデザインの理念の普及と実践の促進を図り、住む人も訪れる人も快適に安心して過ごせる地域づくりを進めるため、第5次ふじのくにユニバーサルデザイン行動計画に基づき、ハート・ソフト・ハードの各分野において全庁的に取組みを進めている。

2 第5次ふじのくにユニバーサルデザイン行動計画の概要

(1) 本県における位置づけ

- ・ 本県の新ビジョン（総合計画）において、「(政策) 誰もが活躍できる社会の実現－(政策の柱) 誰もが理解し合える共生社会の実現」の中に位置付けられる分野別計画 ※くらし・環境部県民生活課が取りまとめ
- ・ 計画期間は2018～2021年度の4年間

(2) 取組内容

- ・ ハート・ソフト・ハードの各分野がバランス良く進捗する取組み
- ・ 第4次行動計画で進捗が遅れ気味であったハート分野の取組強化
＜施策体系＞

| 区 分 | 施策体系 |
|----------------------------------|---|
| 【ハート】 誰もがお互いに思いやり共生する社会づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ 心のUDを実践できる人づくり ・ 誰もが活躍できる共生の社会づくり |
| 【ソフト】 誰にも優しく魅力的なサービス・情報や製品の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・ おもてなしの心あふれる顧客サービスの提供 ・ 誰もが様々な場面で必要な情報を得られる環境づくり ・ 使いやすく魅力ある製品の開発及び利用の促進 |
| 【ハード】 誰もが快適で過ごしやすいまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用しやすく配慮された施設(建物、公園等)や住宅の整備 ・ 安全で利用しやすい道路、歩行空間や交通機関の整備 |

＜代表指標の現状値＞

| 分野 | 区分 | 指 標 | 現状値 ※直近の実績値 | 目標値 (R3年度) |
|-----|------|---|--------------------|---------------|
| ハート | 成果指標 | 困っている人を見掛けた際に声を掛けたことがある県民の割合 | (R1年度調査) 33.0% | 33.3% |
| | 活動指標 | ユニバーサルデザイン出前講座の実施回数 | (R1年度調査) 47回 | 毎年度 30回 |
| ソフト | 成果指標 | 県内企業、団体等のユニバーサルデザインへの取組割合 | (R1年度調査) 50.8% | 55% |
| | 活動指標 | 工業技術研究所によるユニバーサルデザインに関する研究開発技術指導及び相談の件数 | (R1年度調査) 484件/年 | 500件/年 |
| ハード | 成果指標 | 誰もが暮らしやすいまちづくりが進んでいると感じる県民の割合 | (R1年度調査) 49.8% | 75% |

| | | | | |
|--|----------|----------------------------|-------------------|------|
| | 活動 指標 | 通学路合同点検等に基づく要対策箇所対 策達成率 | (R1年度調査) 79.7% | 100% |
|--|----------|----------------------------|-------------------|------|

※このほかに 32 の個別指標を設定している。

<令和元年度の具体的な取組事例>

| 担当部局 | 内 容 |
|------------|--|
| くらし・環境部 | <ul style="list-style-type: none"> ○相手のことを思いやり、さらに一歩進んで行動する「心のUDプラス」の促進を目的とした、障害者や外国人への対応を想定した実践講座の実施（令和元年度はオリパラの都市ボランティアや観光事業者向け） ○オリパラ開催地におけるUD取組事例の情報発信 ○福祉のまちづくり条例対象建築物の整備基準への適合推進 ○県営住宅におけるエレベーターの設置、段差の解消、手すりの設置等の整備 |
| スポーツ・文化観光部 | <ul style="list-style-type: none"> ○ラグビーW杯・オリパラに向けた取組み ・大会会場や会場へのアクセスの整備 ・心のバリアフリーの機運醸成・推進を目的とした大会前イベントでの障害者スポーツ体験・交流会 |
| 健康福祉部 | <ul style="list-style-type: none"> ○障害のある人への合理的配慮の提供の推進のための動画公開 ○「ゆずりあい駐車場制度」の普及啓発、協力施設確保 ○オリパラに向けた誰もが利用しやすいユニバーサルデザインタクシーの購入経費助成 |
| 交通基盤部 | <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道駅のユニバーサルデザイン化 ○通学路合同点検に基づく対策実施 ○水辺の交流拠点の整備（河川・港湾） |
| 警察本部 | <ul style="list-style-type: none"> ○オリパラに向けた競技会場周辺や鉄道駅周辺におけるバリアフリー型信号機の設置 |

現地・自己点検調査

障がい者、高齢者等を含めた不特定多数の来庁があり、UDへの配慮が必要と思われる県有施設について、現地調査および自己点検調査を、令和元年7月～12月に実施

- ・調査項目：「駐車場」「敷地の入り口から建物などの経路」「多機能トイレ」「エレベーター」等（「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」の整備基準をベースとして調査）
- ・現地調査：特に来庁者が多い県庁舎・文化施設など18か所
- ・自己点検調査：上記以外の単独事務所や警察署、学校等125か所



調査結果

【来庁者が多い県庁舎・文化施設】

- ・多くの施設で出入口の段差解消済、受付までの視覚障がい者用誘導ブロックが設置済
- ・授乳室、オストメイト対応設備の設置がやや不十分

【上記以外の単独事務所や警察署、学校等】

- ・多くの施設で出入口の段差解消済
- ・受付までの視覚障がい者用誘導ブロック、おむつ交換台などの設置がやや不十分
- ・授乳室、オストメイト対応設備の設置が不十分

調査結果を、ピクトサイン(絵文字)を活用した「バリアフリー情報」としてまとめ、ホームページで公表

| バリアフリー情報 | | | | | |
|----------|----------|---------|-------|-----|------|
| 庁舎等 | 文化施設等 | スポーツ施設等 | 地域機関等 | 病院等 | 警察署等 |
| 庁舎 | バリアフリー情報 | | | | |
| 本庁舎 | | | | | |

【今後の取組】 UDの視点を取り入れた県有施設づくりについて、どう進め(プロセス)、どう整備し(ハード)、配慮をどうするか(ソフト)をまとめたガイドラインを作成する予定

現状と課題

- タウンミーティング（＝県民との意見交換会）などにおける車いすやベビーカーの利用者からの意見
 - ・雨天時に障害者用駐車場で車を乗降する際に、体がずぶ濡れになるため、対策を講じてほしい
- 福井県特有のバリア
 - ・車社会の福井県では、車を運転して移動することが多い
 - ・冬季など雨や雪の日が多い地域のため、濡れることを懸念して外出できない



**障がい者や高齢者等の社会参加を後押しするとともに、
全ての県民が思いやりの心を意識するシンボルとして、カーポートパーキングを普及させる**

今後の整備方針

- 民間施設：カーポート整備費の助成により設置を促進〔補助率1／3（最大50万円）〕
 - 対象施設：商業施設、医療施設、社会福祉施設等の不特定多数の者が利用する施設
 - 補助要件：利用者の用に供する駐車場について
 - ①外部出入口に近接した場所に設置する
 - ②幅は3.5m以上とする
 - ③車いす使用者用駐車区画である旨を見やすい方法により表示する
- 県有施設：広く県民が利用する文化教育施設、スポーツ施設等の障害者用駐車場にカーポートを設置
- ◎目標設置施設数：約80施設（令和2年度～4年度）

名古屋市の取組み

資料9-⑤

| | |
|--------------------------------------|--|
| <p>項目</p> | <p>県、市、会社の取組み マスタープラン・基本構想</p> |
| <p>表題</p> | <p>名古屋市の主な取組み</p> |
| <p>概要</p> | <p>① 福祉都市環境整備の推進</p> <p>本市が整備及び設置する施設等のバリアフリー化を推進するため、「福祉都市環境整備指針」を策定し、指針に基づき整備を実施（指針ではバリアフリー法及び愛知県人にやさしい街づくりの推進に関する条例よりも厳しい技術的基準を設定） また、年に2回、「福祉のまちづくり推進会議」を開催し、本市の福祉環境整備事業の進捗状況等の情報共有と必要な協議を実施</p> <p>② バリアフリー基本構想</p> <p>金山駅地区(平成15年)、名古屋駅地区(平成16年)、栄・久屋大通駅地区(平成18年)に交通バリアフリー基本構想を策定 大曽根駅地区(平成21年)にバリアフリー基本構想を策定</p> <p>③ 民間鉄道駅舎のバリアフリー整備補助</p> <p>国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、乗降客数3,000人以上の民間鉄道駅舎へのエレベーターや多機能トイレ等の設置について、費用の一部を補助 また、乗降客数100,000人以上の民間鉄道駅舎へのホームドア等の設置について、費用の一部を補助 ※ 補助率:補助対象経費の1/3以内</p> <p>④ ユニバーサルデザインタクシーの導入補助</p> <p>国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、障害者のほか、高齢者や妊産婦、子ども連れの人など、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインタクシーの導入を促進するため、費用の一部を補助 ※ 補助額:1台あたり20万円</p> |
| <p>課題 ・ 取組 実績 など</p> | <p>○ 民間鉄道駅舎のバリアフリー整備補助</p> <p>【実績】 令和元年度末累計 55駅(バリアフリー整備済の駅舎数) 進捗率(目標達成率) 94.8%【55駅/58駅】 ※ 令和2年度から名鉄本笠寺駅の整備を開始予定</p> <p>【課題】 乗降客数3,000人以上でバリアフリー未実施の民間鉄道駅舎について (残り2駅:本星崎駅、桜駅)</p> <p>○ ユニバーサルデザインタクシーの導入補助</p> <p>【実績】 令和元年度末累計 459台(補助台数。平成29年度事業開始) ※ 令和2年度は220台を補助予定</p> |

静岡市 の取組み

資料9-⑥

| | |
|---------------------------|--|
| 項目 | 県、市、会社の取組み |
| 表題 | 「静岡市における鉄道駅バリアフリー化事業の取組み」 |
| 概要 | <p>【目的】 市内鉄道駅バリアフリー化を促進し、高齢化社会に対応した安全・安心な都市空間の創出する。</p> <p>【取組方針】 乗降客数3,000人/日以上 of 鉄道駅を優先に、駅バリアフリー化を実施する。 (2020年度末整備完了を目標)</p> |
| 課題 ・ 取組 実績 など | <p>【整備実績】 2019年度(令和元年度)末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内、乗降客数3,000人/日以上 of 鉄道駅(JR・私鉄) <div style="text-align: right;">・・・17駅中、13駅が整備済(実施率76.5%)</div> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備事業の効果検証(アウトカム)を明確化したい。 |

3-2 安全・安心・快適な利用環境の整備

- ・誰もが安全・安心・快適に公共交通を利用できる環境を整備するため、バリアフリー化や安全対策を推進する。

| 実施主体 | スケジュール (年度) | | | | |
|----------------------------------|---|------|---------|------|-----------|
| | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023～2035 |
| 静岡市 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者 | 鉄道のバリアフリー化 | | 継続又は見直し | | |
| | 評価・検証 | | | | |
| | 鉄道の新型車両、ノンステップバス、UDタクシーの導入 (車両更新時に順次導入) | | | | |

凡例

検討

実施

評価・見直し

○鉄道駅のバリアフリー化

- ・鉄道駅などの利用者の多い施設に対し、バリアフリー化や安全対策を推進する。
- ・3,000人/日を超える利用者がある駅について、移動円滑化基本方針に基づき、平成32年度までの整備完了を目指し、優先的に整備する。

▼優先整備対象駅 (3,000人/日以上)の鉄道駅)

| 鉄道 | 対象駅数 | 完了駅数 | 優先整備対象駅 |
|-----------|--------|-------|--------------------------|
| JR 東海道本線 | 9/10 駅 | 8/9 駅 | 由比駅 |
| 静岡鉄道静岡清水線 | 8/15 駅 | 3/8 駅 | 古庄駅、県総合運動場駅、桜橋駅、新清水駅、柚木駅 |

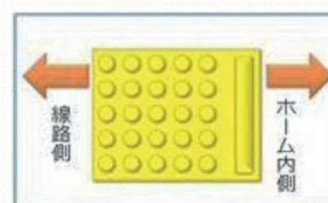
※平成30年3月末時点



列車接近表示装置



エレベーター



内方線付き点状ブロック



エレベーター



バリアフリー対応トイレ



音声触知盤

▲バリアフリー化施設例

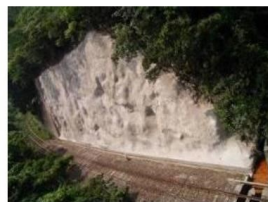
出典: 静岡市総合交通計画

○鉄道施設の安全対策の推進

- ・安全・安心な鉄道輸送を確保するため、安全性の向上に資する軌道設備等の整備を行う。



軌道改良



法面固定



ATS

▲軌道設備等の設備例

出典: 国土交通省資料

○安全・安心・快適な車両の更新

車両更新にあたり、誰もが利用しやすく、安全・安心・快適な車両を導入する。

- ・安全性・快適性に優れた鉄道車両の導入
- ・低床バス*63（ノンステップ・ワンステップ）の導入
- ・UD（ユニバーサルデザイン）タクシー*64の導入

新型車両 A3000形の性能について

形式名「A3000形」に込めた想い「A」は以下の3つの頭文字であり、新型車両の導入により実現を目指すことを表します。

Activate（活性化する）……さらなるにぎわいを創出し、沿線をはじめ静岡清水エリアを活性化すること。

Amuse（楽しませる）……乗ること、眺めることを通じて人を楽しませること。

Axis（軸）……静岡清水を結び、これからの静岡市が目指すコンパクトシティの軸となること。



もっと、安全に。

- ・ステンレス鋼製の車体は、万が一の衝突時を考慮して高強度化しています。
- ・主要機器を二重化することで、車両故障による遅延などを低減します。
- ・台車に滑走防止装置を装備し、雨天時などの車輪の滑りを減らします。

もっと、快適に。

- ・車内に液晶画面を新設することで、多様な情報を提供します。
- ・座席端部に仕切り板を新設し、お客様同士の接触を減らします。
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、使いやすい吊り手や手すりの採用、ベビーカー・車いすスペースの新設など、すべての人に使いやすい車内空間を追求します。



もっと、環境との調和を。

- ・ステンレス材の車体でアルミ車と同等の軽量化を実現します。リサイクル性にも優れています。
- ・効率の良いモーターやLEDの採用により、現在比50%以上の省エネルギー化を図ります。
- ・最新の全閉構造モーターの採用により、騒音を低減します。



車内イメージ



ベビーカー・車いすスペースイメージ

出典：静岡鉄道ホームページ



低床バス(左:ワンステップバス、右:ノンステップバス)



UDタクシー

出典：しずてつジャストライン HP、静岡市 HP

取組や事例の内容

■ユニバーサルデザイン啓発

- ・小中学校等への「心のユニバーサルデザイン」の理解を深めるための学習支援
- ・ユニバーサルデザイン市民リーダーの養成

■ユニバーサルデザイン推進のための環境づくり

- ・窓口等でのICTを活用したコミュニケーション支援

■バリアフリー化・ユニバーサルデザインに配慮した整備

- ・公共施設のピクトグラム設置
- ・バリアフリー基本構想の策定



UD学習支援事業(UD施設見学)



新JIS規格のピクトグラム設置



「ピクトグラム選手権」開催チラシ

課題・取組実績

■ユニバーサルデザイン啓発

【目的】

- ・普及啓発を行う市民の人材育成と体制の構築・強化

【取組実績】

- ・段階的なセミナー等による研修体制の構築

【今後の課題】

- ・市民リーダーの学習支援ガイドへの移行
- ・学習支援ガイドによる学習カリキュラムの整備

■ユニバーサルデザイン推進のための環境づくり

【目的】

- ・窓口等における外国人や高齢者、障がい者等へのコミュニケーション支援

【取組実績】

- ・タブレット端末と翻訳・音声文字化アプリケーションの活用

【今後の課題】

- ・ビデオ会議等の遠隔活用方法の検討
- ・ICTの活用

■バリアフリー化・ユニバーサルデザインに配慮した整備

【目的】

- ・ブラジルパラリンピック選手団の事前合宿地として見込まれる公共施設のピクトグラムの設置

【取組実績】

- ・ISOに合わせ市内10施設・70箇所のピクトグラムを設置
- ・ピクトグラム選手権の開催

【今後の課題】

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技会を契機とした思いやりの心の醸成やユニバーサルデザインのまちづくりの推進